ネット[1]等に聴く戦前期の台湾歌謡曲（七訂稿）
―「雨夜花」と「サヨンの鐘」を中心に―
―日本統治下台湾諸歌の一齣―

（令和 4（2022）年 7 月 28 日（木）現在）

（補正経緯）

HP 初載:
- 平成 20（2008）年 6 月 16 日（月）初稿作成
- 平成 20（2008）年 6 月 17 日（月）改訂稿作成
  （「台湾警察歌」関連誤記等訂正）
- 平成 21（2009）年 4 月 13 日（月）再訂稿作成
  （「吉田荘人「10、戦争と流行歌―台湾歌謡の先駆者、鄧雨賢―」『人物で見る台湾百年史』（東方書店、平成 5 年 10 月 30 日刊）関連記事等追加、誤植訂正）
- 平成 21（2009）年 12 月 27 日（日）三訂稿作成
  （謝新発「5 台湾が生んだ世界の名作曲家」『誰にも書けなかった台湾』(台北・自己出版、民国 69（1980）年 10 月 3 日以降刊（未見）、第 2 版: 民国 69 年 12 月 30 日刊）関連記事等追加、誤植訂正）
- 平成 22（2010）年 10 月 7 日（木）四訂稿作成
  （「雨夜花」、「サヨンの鐘」カバー曲関係記事追加）
- 平成 24（2012）年 8 月 6 日（月）五訂稿作成
  （関連サイト等一部再確認、アップ）
- 平成 26（2014）年 11 月 26 日（水）六訂稿作成
  （関連サイト等一部再確認、アップ）
- 令和 4（2022）年 7 月 28 日（木）七訂稿作成
  （レイアウト全面変更、一部補正、追加）

【参考】「法制史学者著作目録選（WEB 版）」⇒「日本統治下台湾警察史コーナー」
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm〉

日本統治下台湾においても、歌謡曲、社歌、校歌、寮歌、記念歌、軍歌の類が多数作られた[2]。これらについては、現在では、「YouTube」、「Youmaker」をはじめとして、ネット

[1] ここでは、「You Tube」、「Youmaker」（中国語版の「YouTube」のようなビデオアップロードサイト〈http://www.youmaker.com/video/index/index〉）その他日台両者のネット資料に拠る。ただし、現段階では、必ずしも網羅的なものではない。他日の補正を期したい。
（（平成 26 年 11 月 26 日追加）：「You Tube」等掲載のものは随時掲載、削除等があり、本稿は現状を反映していない。）

[2] 全般的なものは、台湾の HP「古い記憶のメロディー」〈http://www.geocities.jp/abm168/〉参照。なお、本 HP 掲載の日本統治下台湾関係歌稿としては、下記の諸稿がある。

により、かなりの曲を容易に聴くことが出来るようになっている。以下、これらのうち、代表的なものを記しておくこととする。

まず、歌謡曲の代表的なものとしては、例えば、台湾語の歌では「雨夜花」[3]（ウヤホエ、

・「澤村胡夷と台湾警察歌―日本統治下台湾警察史の一齣―」
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawamura001.pdf〉
・「「台湾警察歌」の作曲者一條愼三郎氏の御業績を巡って― 一條元美氏の御長逝を悼みて―」
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ichijo001.pdf〉
・「『鷲巣敦哉著作集 補遺』（緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊）概要」（「台湾警察歌」関係あり。）
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf〉
・「台湾総督府警察官及司獄官練習所歌覚書―「椰子の実みのる」及び「彩雲めぐる」をめぐって― ―日本統治下台湾警察史の一齣―」
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/renshushouta.pdf〉
・「「サヨンの鐘」によせて―「サヨンの鐘」資料一斑―」
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sayun001.pdf〉
・「「サヨンの鐘」関係文献抄―本 HP 別稿「「サヨンの鐘」によせて―「サヨンの鐘」資料一斑―」参考資料―」（本稿）
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sayunbunken.pdf〉
・「再び澤村胡夷作詞「台湾警察歌」及び「サヨンの鐘」について―日本統治下台湾警察史の一齣―」
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/futatabi.pdf〉
・「佐塚佐和子歌「蕃社の娘」及び「想い出の蕃山」覚書」
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/satsuka.pdf〉
・「「台湾軍の歌」覚書―日本統治下台湾諸歌の一齣―」
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taiwangunka.pdf〉
・「ネット等に聴く戦前期の台湾歌謡曲―「雨夜花」と「サヨンの鐘」を中心に― ―日本統治下台湾諸歌の一齣―」
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/netkayo.pdf〉
・台北帝国大学予科「逍遥歌 高砂周遊の歌」関係資料一斑
〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shoyoka001.pdf〉

[3] 「雨夜花」の創作経緯については、様々なサイトがある。日本語のものでは、例えば、次のものが興趣深い。
「真美的☆台湾郷土歌謡」〈http://ameblo.jp/chinsuie-taiwan/〉中の「雨夜花 戦前の台湾創作歌謡 2006.10.25」

「雨夜花」の歌詞は、次のとおりである。

「雨夜花」：作詞：周添旺 作曲：鄧雨賢

（1） 雨夜花，雨夜花，受風雨吹落地，無人看見，每日怨嗟，花謝落土不再回。

（2） 花落土，花落土，有誰人倘看顧，無情風雨，誤阮前途，花蕊哪落欲如何。

（3） 雨無情，雨無情，無想阮的前程，並無看顧，軟弱心性，乎阮前途失光明。

（4） 雨水滴，雨水滴，引阮入受難池，怎樣乎阮，離葉離枝，永遠無人倘看見。

例えば、「YOUMAKER」の下記サイト参照。本歌は、日本統治を絡めた歌詞との説もある。
〈http://www.youmaker.com/video/sa?id=85d81f90bb3142938f894532d582a21a001〉

昭和 9 年、周添旺（1910～1988）作詞、鄧雨賢（1906～1944）[4]作曲。ただし、日本語のものもある（「雨の夜の花」）[5]、また、日本語の歌では「サヨンの鐘」[6]が挙げられる。

この他、「You Tube」等でも、鄧麗君（テレサ・テン、1953～1995）、現在「台湾閩南語歌曲天后」といわれる江蕙（1961～）
〈http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B1%9F%E3%83%9B%E3%82%A4〉、小鳳鳳（1975～
〈http://www2s.biglobe.ne.jp/～tukahara/tong.html〉）の下記のものをはじめ、いろいろ聴くことができる。
・鄧麗君歌：〈http://www.youtube.com/watch?v=gU6XdwBii8Y〉
・江蕙歌：〈http://www.youtube.com/watch?hl=ja&v=g_GhqD4ou68&gl=JP〉
・小鳳鳳歌：〈http://jp.youtube.com/watch?v=YqzdZdc8u0M〉
次のものは、「Youmaker」に掲載の鄧麗君による日本語、台湾語のものである。（平成 26 年 11 月 26 日一部補正）
〈http://www.youmaker.com/video/sv?id=453b2aba74c74247a11cb2a08314d7b0001〉

[4] 鄧雨賢（1906～1944）は、戦前の台湾で最も著名な作曲家であるが、この他では、「望春風」や「月夜愁」等が有名である。鄧雨賢については、邦文文献では、例えば、謝新発（1931～）「5 台湾が生んだ世界の名作曲家」『誰にも書けなかった台湾』（台北・自己出版、民国 69〈1980〉年 10 月 3 日以降刊〈未見〉、第 2 版：民国 69 年 12 月 30 日刊）117～146 頁、吉田荘人（1932～）「10、戦争と流行歌―台湾歌謡の先駆者、鄧雨賢―」『人物で見る台湾百年史』（東方書店、平成 5 年 10 月 30 日刊）104～120 頁があるが、とりわけ前者は貴重である。（この段の一部：平成 21 年 4 月 13 日、同年 12 月 27 日各修正、追加）

日本統治下台湾の台湾語歌謡曲について、ネットでは、例えば、「[PDF] 高苑科技大學應用外語系應用語言專題實作（大學部）」参照。「雨夜花」については、上記「真美的☆台湾郷土歌謡」〈http://ameblo.jp/chinsuie-taiwan/〉中の「雨夜花 戦前の台湾創作歌謡 2006.10.25」参照。

（参考）

「望春風」（李臨秋作詞、鄧雨賢作曲）は、例えば、「Youmaker」の下記のサイト参照。

〈http://www.youmaker.com/video/sv?id=c023121417454a5aafd81fd844d6e42b001〉
これは、戦時中、「大地は招く」（越路詩郎作詞、鄧雨賢作曲、霧島昇歌）なる「替え歌」が作られた。
〈http://tw.myblog.yahoo.com/cfz9155cfz0678sv-cfz9155cfz0678sv/article?mid=4558&prev=5078&next=2399&l=f&fid=33〉
〈http://www.youtube.com/watch?v=iBfxJGbh6gs〉（本サイト：平成 24 年 8 月 6 日追加）
また、「月夜愁」（昭和 8（1933）年、周添旺作詞、鄧雨賢作曲）は、例えば、「YOUMAKER」の下記のサイト参照。
〈http://www.youmaker.com/video/sa?id=227f73dd21234c7ebab308c82ac24543001〉
これも、戦時中「軍夫の妻」（栗原白也作詞、鄧雨賢作曲、服部良一編曲、渡辺はま子歌）なる「替え歌」が作られた。
〈http://tw.myblog.yahoo.com/cfz9155cfz0678sv-cfz9155cfz0678sv/article?mid=7302&prev=7644&next=6973&l=f&fid=33〉
〈http://www.youtube.com/watch?v=GCUKtofZ1Kw〉 （本サイト：平成 24 年 8 月 6 日追加）

[5] 日本語版として、「雨の夜の花」（昭和 17 年 11 月：コロンビア、西條八十作詞、渡辺はま子歌）があるが、これは、平成 20（2008）年 5 月 17 日に、「You Tube」に掲載された。貴重である（平成 22 年 10 月 7 日現在掲載中を確認）。

・渡辺はま子歌「雨の夜の花」：〈http://jp.youtube.com/watch?v=udA9NQvmPkM〉（平成 24 年 8 月 6 日時点では削除） ⇒〈http://www.youtube.com/watch?v=O-cfHwh_Sx8〉（本サイト：平成 24 年 8 月 6 日追加 ⇒平成 26 年 11 月 26 日現在では削除か。）

・「ふろあのブログ（SP レコード時代の歌謡、芸能）中「雨の夜の花 渡辺はま子 100591」参照。
〈http://blogs.yahoo.co.jp/furoa78/32287576.html〉（平成 26 年 11 月 26 日追加）

また、胡美芳「雨夜花」も、平成 21（2009）年 4 月 4 日、「You Tube」に掲載された。

・胡美芳歌「雨夜花」〈http://www.youtube.com/watch?v=LRRREurf36g〉（この段: 平成 21 年 4 月 13 日追加 ⇒平成 26 年 11 月 26 日現在では削除か。）

歌詞: 『西條八十全集』第 9 巻（歌謡・民謡Ⅱ）（国書刊行会、平成 8 年 4 月 30 日刊）152、153 頁参照。

（1） 雨の降る夜に　咲いてる花は　濡れて揺られて　ほろほろ落ちる

（2） 紅がにじんで　紫ぬれて　風のまにまに　ほろほろ落ちる

（3） 明日はこの雨　やむかもしれぬ　散るをいそぐな　可愛い花よ

（4） 雨に咲く花　しんからいとし　君を待つ夜を　ほろほろ落ちる

台湾の HP「古い記憶のメロディー」〈http://www.geocities.jp/abm168/〉 中の「ゲストブック」過去ログ⑱（2007 年 6 月 20 日（水）11 時 04 分）で、KMT 氏は、「「雨の夜の花」: 唱 渡辺はま子 1942 年 12 月〈ママ〉日本国内販売 日本コロムビア No.100591 台湾国内〈ママ〉販売 1941 年 2 月 利家（リーガル） コロムビア廉価盤レーベル No.T-1152」とし、台湾では内地発売の前年に既に発売されており、台湾でヒットしたため、内地発売をしたものとの興味深い指摘をされておられる。

次のは、上述の鄧麗君（テレサテン）による日本語、台湾語のものである。これは、平成 20 年 5 月 22 日に、「You Tube」に掲載された。（⇒平成 26 年 11 月 26 日現在では削除か。）

〈http://jp.youtube.com/watch?v=HWfubJTgB6I〉

その他、歌詞もいろいろ出ている。例えば、HP「古い記憶のメロディー」（思い出の曲アルバム）〈http://www.geocities.jp/abm168/〉中のものは、次のとおりである。

（日本語歌詞 作者不明）

（1） 誰もしらない 南のはてに ながれながれて 咲く恋のはな

（2） 女に生まれた 短いいのち 知っておくれか やさしいひとに

本歌は、戦時中には、「誉れの軍夫」（栗原白也作詞、鄧雨賢作曲、奥山貞吉編曲、霧島 昇歌）なる時局歌曲（時局歌）の「替え歌」も作られた。（平成 26 年 11 月 26 日一部修正）

〈http://ameblo.jp/chinsuie-taiwan/entry-10018869728.html〉参照。

戦後には、この曲を使った日本語のカバー曲として、「南国哀歌」（昭和 40 年 7 月、コロンビア、大矢弘子作詞、塩瀬重雄編曲、こまどり姉妹歌。）、「南国の花」（昭和 40 年 7 月 10 日、ビクター、邱永漢作詞、寺岡真三編曲、三沢あけみ歌。）等がある。

・「南国哀歌」（試聴分）: 〈http://wacca.tv/m/listen/track/coca10400_1_11〉

「南国哀歌」は、平成 20（2008）年 9 月 21 日、You Tube に掲載された（平成 21 年 4 月 13 日追加）〈http://www.youtube.com/watch?v=0J57rf86EUo&feature=related〉が、平成 21（2009）年 12 月 27 日現在では、削除されているようである。ただし、別のものが、

平成 21（2009）年 8 月 16 日 You Tube〈http://www.youtube.com/watch?v=8hkNScmnNcs〉、

同年 10 月 28 日 You Tube〈http://www.youtube.com/watch?v=c2ELgLUmFUc〉（歌詞も掲載）に、それぞれ掲載されている。（平成 21 年 12 月 27 日追加）

・「南国の花」の歌詞: 〈http://music.goo.ne.jp/lyric/LYRUTND39397/index.html〉、

〈http://www.uta-net.com/user/phplib/view_0.php?ID=40267〉、

〈http://pasar-raya.at.webry.info/200610/article_43.html〉各参照。

「南国の花」も、その後、You Tube で見ることができるようになった（平成 22 年 3 月 5 日アップ

他方、社歌、校歌、寮歌、記念歌等の中では、澤村専太郎（胡夷、1884～1930）作詞、一條慎三郎（1870～1945）作曲「台湾警察歌」[7]（昭和 4〈1929〉年 1 月台湾総督府警務

（平成 22 年 10 月 7 日追加）。

[6] 「サヨンの鐘」のレコードは、昭和 16（1941）年 10 月に発売された（コロンビア、100357A：西條八十（1892～1970）作詞、古賀政男（1904～1978）作曲、奥山貞吉（1887～1956）編曲、渡辺はま子（1910～1999）歌、3 分 40 秒、録音は同年 7 月か?。 裏面: 100357B：西條八十作詞、服部良一（1907～1993）作曲、霧島昇（1913～1984）歌「南の星」）。

・渡辺はま子歌の「サヨンの鐘」は、平成 20（2008）年 1 月 12 日に、「You Tube」に掲載された。〈http://jp.youtube.com/watch?v=G54YpWBhp3I〉参照。

また、「サヨンの鐘」は、同じ平成 20 年 4 月 6 日、「You Tube」に、胡美芳（1926～［2009］）歌のものも収載された。〈http://jp.youtube.com/watch?v=ZiWC7DW4HFU〉参照。

「南の星」は、平成 20（2008）年 3 月 15 日に、「You Tube」に掲載された。

〈http://www.youtube.com/watch?v=DxexLhBvKIs〉参照。

映画『サヨンの鐘』（昭和 18〈1943〉年 7 月公開）の主題歌、挿入歌のレコードは、A 面: 「サヨンの歌」、B 面:「なつかしの蕃社」である。同映画のその他の挿入歌として、「山の合唱」、「台湾軍の歌」があり、上記「サヨンの鐘」も、その四聯が歌われている。これらの内容は、以下のとおりである。

・「サヨンの歌」（A 面: 西條八十作詞、古賀政男作曲、仁木他喜雄（1901～1958）編曲、李香蘭（1920～［2014］）歌、コロンビア、昭和 18 年 1 月 28 日録音、同 5 月 20 日発売、旧レコード番号 1100690A）。

「サヨンの歌」は、台湾の HP「古い記憶のメロディー」中の「思い出の曲アルバム」及び「軍歌、戦時歌謡アルバム」に、メロディーが収録されている。〈http://www.geocities.jp/abm168/〉参照。

「サヨンの歌」は、「You Tube」には、平成 20 年 3 月 28 日に掲載された。

〈http://jp.youtube.com/watch?v=g3gO5fOpRCk〉参照。

・「なつかしの蕃社」（B 面: 西條八十作詞、古賀男作曲、霧島昇（1914～1984）・菊池章子（1924～2002）歌、コロンビア、昭和 18 年 1 月 28 日録音、同 5 月 20 日発売、旧レコード番号 1100690B）。

「なつかしの蕃社」は、台湾の HP「古い記憶のメロディー」中の「思い出の曲アルバム」及び「軍歌、戦時歌謡アルバム」に、メロディーが収録されている。〈http://www.geocities.jp/abm168/〉参照。

「なつかしの蕃社」は、「You Tube」には、平成 20 年 4 月 1 日に掲載された。

〈http://www.youtube.com/watch?v=lNK3eHxocRs〉参照。

・「山の合唱」（古賀政男作曲、昭和 18 年 1 月、映画『サヨンの鐘』挿入歌）は、レコード化はされずとの由である。

・「台湾軍の歌」（台湾軍報道部作詞、山田栄一作曲、灰田勝彦（1911～1982）歌、昭和 15 年 10 月、日本ビクター）も、現在では、各種ネットサイトで聞けるようになっている。

なお、「サヨンの鐘」は、戦後の台湾では、「月光小夜曲」として歌われている。例えば、「Youmaker」の「月光小夜曲」〈http://www.youmaker.com/video/search〉参照。この他、広東語（粤語）のものとして、「毎當變幻時」（広東語。1977 年、薫妮。張偉文等）があり、「You Tube」で見ることができる。

薫妮: 〈http://www.youtube.com/watch?v=120-8BE8E7o〉（平成 22 年 10 月 7 日追加）

〈http://www.inkui.com/a1/3/30D80F865771E8EFD6F1.html〉（平成 24 年 8 月 6 日追加）

[7] 澤村胡夷や「台湾警察歌」については、一般的には、大嶋知子（1944～）『澤村胡夷全詩集』（中央公

局制定）が、もとより最も興味深いものと思われる[8]。また、軍歌では、「台湾軍の歌」（昭

論事業出版、昭和 42 年 3 月 3 日刊）、神陵史編集委員会『神陵史―第三高等学校八十年史―』（河野勳（執筆）、上横手雅敬（1931～）「あとがき」、三高同窓会、昭和 55 年 3 月 31 日刊）、海堀昶「澤村胡夷作詞の歌 新発見台湾警察歌」『会報』第 97 号（三高同窓会、平成 15 年 3 月 31 日刊）等各参照。なお、下記 HP「三高私説」参照。〈http://www2s.biglobe.ne.jp/～tbc00346/component/index.html〉

私的には、先に、「澤村胡夷と台湾警察歌」『台湾協会報』第 580 号（平成 15 年 1 月 15 日刊）、「一條愼三郎について―日本時代台湾音楽史の一齣―」『台湾協会報』第 586 号（平成 15 年 7 月 15 日刊）、「台湾総督府警察官及司獄官練習所歌一斑―『椰子の実みのる』をめぐって―」『台湾協会報』第 594 号（平成 16 年 3 月 15 日刊。その曲は土井晩翠（1871～1952）「星落秋風五丈原」譜である。）等を作成した。その後、本 HP 別稿「『鷲巣敦哉著作集 補遺』（緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊）概要」に下道郁子氏論稿等最近の「台湾警察歌」関係事項を記載した。〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf〉（「その後」以降: 平成 26 年 11 月 26 日追加）

[8] 詳しくは、本 HP 別稿「澤村胡夷と台湾警察歌―日本統治下台湾警察史の一齣―」〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawamura001.pdf〉）及び「再び澤村胡夷作詞「台湾警察歌」及び「サヨンの鐘」について―日本統治下台湾警察史の一齣―」〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/futatabi.pdf〉）等参照。

平成 19（2007）年秋頃、HP「音顧指針 蓄音機 ＳＰレコード 骨董 辺境の旅」（開設日: 2007/3/2（金））〈http://blogs.yahoo.co.jp/axttony/10230679.html〉に、「8. パーロホン NO.E1939 1932 年 11 月発売 A 面「台湾警察歌」澤村専太郎詞 一條愼三郎曲 田村猛雄 B 面「蕃界警備壮夫の歌」本間善庫詞 一條愼三郎曲 山田道雄・東京セレネーダス合唱団」の記載があることを見つけたが、当時画像は見ることができないようであった（平成 19 年 10 月 31 日閲覧時点）。

しかるに、その後、平成 20（2008）年 1 月 2 日午後 7 時 24 分には、上記「台湾警察歌」の画像が掲載された〈http://blogs.yahoo.co.jp/axttony/29542875.html〉。更に、同日午後 7 時 31 分には、歌そのものも聴けるようになった（平成 20 年 6 月 17 日現在（改訂稿）、平成 21 年 4 月 13 日現在（再訂稿）: 下記サイトで閲覧可能。〈http://blogs.yahoo.co.jp/axttony/29543224.html〉）。（平成 21 年 12 月 27 日現在閲覧可能確認。しかるに、その後、ある時期より、再び画像のみで聴くことはできない状態となり、平成 22 年 10 月 7 日現在でもそのままである。）

また、上記「蕃界警備壮夫の歌」も、平成 20 年 1 月 2 日午後 7 時 43 分に、画像とともに、曲そのものも聴くことができるようになった

（同〈http://blogs.yahoo.co.jp/axttony/archive/2008/01/02〉）（平成 22 年 10 月 7 日現在では再び聴けない状態になっている。）。

（この部分、平成 20 年 6 月 17 日一部修正）

なお、これより少し先、平成 20（2008）年 1 月 2 日（水）午後 4 時 23 分、「MOVIE CASTER」（ムービーキャスター）に、上記「パーロホン 1932 年 11 月発売 A 面「台湾警察歌」澤村専太郎詞 一條愼三郎曲 田村猛雄・東京セレネーダス合唱団」が、「tony」氏によりネット公開された。これまた、寔に貴重なことである。ただ、ネット事情に疎くてよくわからないが、何故か閲覧できないことがある。あるいは、これは、既に削除されているのかもしれない（平成 20 年 6 月 1 日には閲覧確認。同年 6 月 10、17 日閲覧不能。）

いずれにせよ、これで、多年いつかレコード自体を是非とも聞いてみたいと願っていた「台湾警察歌」を、初めてネットで聞くことが出来るようになった。また、同時に、同じ「tony」氏により、上記「パ

和 15 年制定、作詞 台湾軍報道部、作曲 山田栄一）[9]がある。

（了）

ーロホン NO.E1939 1932 年 11 月発売 B 面「蕃界警備壮夫の歌」（本間善庫詞 一條愼三郎曲 山田道雄･東京セレネーダス合唱団）」も、「MOVIE CASTER」（ムービーキャスター）に収録された。ただ、これも、上記「台湾警察歌」と同じ状況下にある。（平成 20 年 6 月 1 日には閲覧確認。同年 6 月 10、17 日閲覧不能。）〈http://www.moviecaster.net/movie_ranking3.php?id=11&s_id=91&rank=40&o=2〉

[9] 詳しくは、本 HP 別稿「「台湾軍の歌」覚書―日本統治下台湾諸歌の一齣―」参照。〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taiwangunka.pdf〉